

災害用コミュニケーションボード利用案内

—災害用コミュニケーションボードを使う前に読んでください—

聴覚障がい者などが災害時に、うまく状況を伝えられないことがあります。そんなときのために、コミュニケーションボードを作成しました。

●コミュニケーションボードとは

イラスト等を指差して、音声でのコミュニケーションが苦手な人たちとのコミュニケーションを助けるためのものです。



●聴覚障がい者について

- ・聞こえない、聞こえにくい人のことを「聴覚障がい者」と言います。
- ・コミュニケーションの方法は手話、筆談、空書、口話、身振り等を組み合わせています。
- ・手話を使って生活している人を「ろう者」と言います。

●盲ろう者について

- ・聴覚障がいと視覚障がいを併せ持った人のことを「盲ろう者」と言います。
- ・コミュニケーションの方法は触手話、指点字、手書き文字（手のひら書き）等です。

●コミュニケーションをする上でのポイント

- ・見ただけでは聴覚障がいがあるとはわかりません。
- ・聴覚障がい者には、いろいろな人がいます。少し聞こえる人もいます。全く聞こえない人もいます。
- ・補聴器をつけていても、音声で会話ができるとは限りません。
- ・音声で話した方がいいか、または筆談の方がいいかどうか確認してください。
- ・ゆっくり、口を大きく開けてはっきりした声で話せば分かる人もいます。
- ・ろう者には文章の読み書きが苦手な人もいます。
- ・目や口元も見て会話しますので、マスク、サングラス等は外してください。
- ・白杖を持っている人に声をかけても反応がない場合、もしかしたら盲ろう者かもしれません。肩をたたいて誘導方法を確認してください。

(災害時)

- ・避難所での重要なお知らせは紙に書いて掲示する、ホワイトボードを活用する等の方法で伝えてください。
- ・電話の依頼をされたときには、代わりに電話をかけてください。電話で聞き取った内容は、紙に書く等の方法で知らせてください。
- ・行政の防災無線、広報車で呼びかけ等の内容を手書き文字等で伝えてください。(盲ろう者)
- ・救援物資があることを伝える時、実物に触らせてください。(盲ろう者)
- ・避難所等不慣れな場所で、ひとりで移動することは困難なので、誘導してください。(盲ろう者)

●コミュニケーションボードの使い方

絵を指しながら、質問してください。災害用コミュニケーションボードを使用する際は、救急用・医療機関用コミュニケーションボードも併せて使用してください。

